

誰一人 取り残さず避難を！

## Inclusive(インクルーシブ)防災訓練

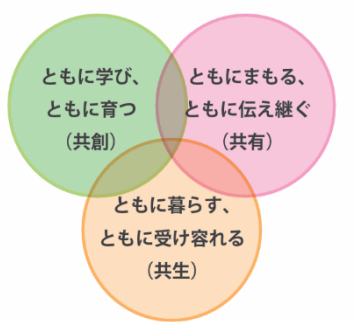
木城町は、令和7年3月「第六次木城町総合計画」と「第3期木城町まち・ひと・しごと総合戦略」を一体的に策定しました。この中で、町の目指す将来像「Inclusive Town Kijo」を掲げました。「Inclusive(インクルーシブ・包括的)」には、「多様性を認め合い、共生する社会」という意味があることから、本計画の将来像には「それぞれの幸せの価値観を認め合い、活かし合うことで心豊かな暮らしと未来への希望あふれる町を目指す」という思いが込められています。さらに、お互いを認めあうことで、個性を活かして思い切ったチャレンジを認める風土も作り上げていきたいという希望も込めています。豊かさは人それぞれ感じ方が違うからこそ、多様な価値観を認めあってそれぞれの居心地のよさを感じられるまちづくりを進めていきます。また、人口が減少していくことに対して、全力で対応していくとともに、町民等がここで暮らしていることに誇りを持ち、愛着が未来につながるまちづくりを進めていきます。

この取組の一環として9月19日(金曜日)川原・白木八重地区を対象に、台風の避難想定で、避難指示の電話連絡を受け、要支援者の方を近隣の避難支援者の方と一緒に避難するという訓練が行われました。川原地区では、徒歩や車いす、自家用車等を利用して、指定避難所である川原公民館に移動しました。白木八重地区では、公民館に集合し、自家用車で川原公民館に移動しました。



備えあれば憂いなし

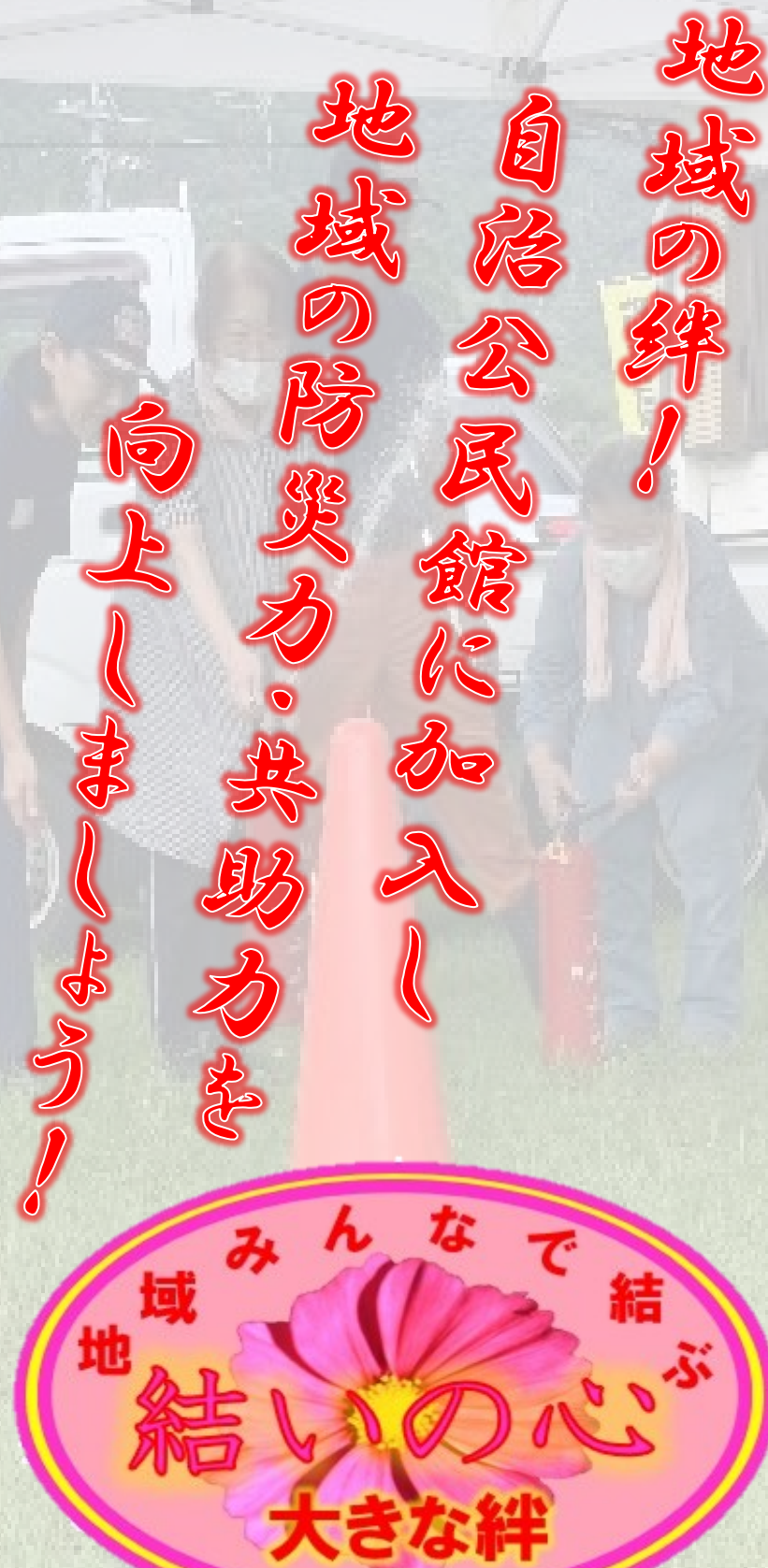
### まちづくりの基本理念



今回の訓練を通して、実際に避難する際の注意点「避難所要時間」「避難経路」「支援配慮事項」等を確認することができました。今後もこのような取組を継続的に実施していくことが、いざという時の実践力・共助力の向上につながると感じました。各地区・自治公民館でも、ぜひ実施してほしいと思います！



要支援者避難の対応確認  
本町では、災害発生時の避難支援として、要支援者の避難を支援するため、避難所までの送迎や、避難所での生活支援を行っています。今回の訓練では、要支援者の避難を支援するため、避難所までの送迎や、避難所での生活支援を行いました。



令和7年11月号

## 地域の絆！を深める自治公民館での取組

### ＜中之又自治公民館＞

10月12日(日)中之又鎮守神社の秋の御祭りが行われました。まず、中之又鎮守神社で、秋の実りへの感謝を込めて中之又神楽が奉納されました。その後、社務所で直会が開かれ、地域の方々、地域に所縁のある方々の交流が図られました！



## 若い力で本城を元気に！地域活動サポーター

今年度から取り組んでいる「次世代地域貢献活動推進」の地域活動サポーターの高校生が、町内の活動で躍動しています！

### ＜町内をコスモスで彩ろう！＞

9月7日、岩瀬自治公民館の「岩瀬大池周辺のコスモスの種まき」に、今回は高鍋高校生が協力してくれました！

また、9月21日、岩戸原で行われたコスモス種まきにも「さわやかリーダークラブ JONYAMA」のメンバーとともに高鍋高校生、妻高校生が協力してくれました！



### ＜国スポを盛り上げていこう！＞

10月11日、木城町少年団スポーツフェスタが行われました。今回は、国スポ2027宮崎大会の木城町実施種目「エアロビック」の体験が行われました。ここでも、高鍋高校生4名が協力してくれました！



自治公民館通信担当

自治公民館活性化支援員

大津新

これから予想される大規模災害に備え、自治公民館活動で地域の「絆」を深めよう！今こそ、「防災」「減災」「防犯」「福祉」などに対する「地域力」を高めよう！